

# 市民政党 草の根

<http://kusanone-iwakuni.net/> 第31号 2023年10月

発行 市民政党「草の根」  
代表 井原勝介  
住所 〒740-0017  
山口県岩国市今津町  
4-11-20  
コーポ純本 1階

電話 0827-21-9808



# 1枚のメモ

代表  
井原勝介

政治の闇

A photograph of Kawai Masayuki, a man with glasses and a suit, speaking into a microphone. He is positioned on the left side of the frame, with a dark curtain in the background.

二階氏「そんなことあるわけないじゃない。証拠だつてあるのかい」菅氏「そんなことがあるわけがない」甘利氏「陣中見舞いで届けた」「党からのお金だ」甘利氏は正直に答えているが、他の2人が嘘を言つている」とは明らか。河井元法相も、「総理から」「官房長官から」と言いながら地方議員に現金を配つていたとのこと。

そして、二階元自民党幹事長、甘利元自民党選挙対策委員長である。単位は万円、総額は6700万円になる。

これに対するそれぞれのコメント。

政治を変える

民主主義と法の支配という普遍の価値を西側先进諸国と共有していると政府はよく言うが、とんでもない。その実は、一党独裁が長く続いており、国民の意思は届かず、憲法や法律さえもないがしろにされる、今世界を搖るがしているいくつかの専制、独裁国家とあまり変わらない。人権抑圧と戦争、この国の政治を根本的に変えない限り、再

は、選挙の公平・公正など絵空事であり、民主主義の土台が崩壊している、さらに、深刻なのは、河井元法相はすでに有罪となり服役中であるが、トカゲの尻尾斬りのよう

民主主義の崩壊

どうしたら、政治を変えることができるのか。やはり、時と空間を超えて無限に広がるインターネットやSNSの世界が、一つの大きな契機になるかもしれない。従来の企業や各種団体、宗教など のタテのしがらみとは全く別の、自由な個人がヨコにつながる世界。そこに新しい政治の形が生まれる。そのための手段があるはず。

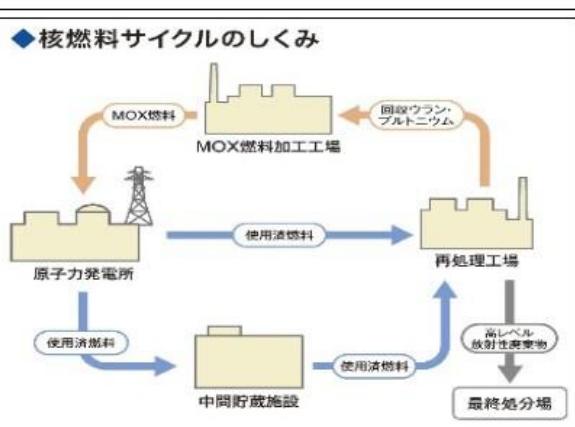
いながら、政治の圧力に屈したのか、はたまた遠慮したのか、十分な捜査もせず握り潰している。悪いことをすれば、誰でも平等に裁きを受ける。いわゆる「法の支配」さえ機能していないうことがわかる。

# 上関町の使用済み核燃料中間貯蔵施設の建設の撤回を求めて

—近隣住民が声を挙げよう—

## 核燃料サイクルの破綻

私は現役時、1978年から1998年にかけて、福井県大飯郡おおい町に在籍する連合機関の職員として、この問題に取り組んでいました。この間に、原子力発電所の運営や、廃棄物処理の問題など、多くの問題が発生しました。特に、高レベル放射性廃棄物の最終処分場として、福井県に選定されたことは、大きな問題でした。



## 原発敷地内で保管を

と処理度理計物トでた一が理各が苦工し話度理計画へニ核青ら工場でMウ燃森保最工社起肉場かでOムと優場がこののし先の出里策稼なで稼資ま・働がす。働く事はらにるた間、六尽日、貯遠ヶ力本ま蔵退所す原ず施き村る燃は設こ再こ再電のの処

置も厳しく扱うべきです。各國うな口抽猛處き地能広がれ格等原の施いり出毒理で内で大なり、セキユリ全面に安全部は、され、敵又う材彈時前保テイに設備常ます。心物陰で原二燃管にて充源を質極あ料ウ料を倣おいて充源抱をまりムはすいり

## 撤回を求めて

仮に上関の使用済み核燃料中間貯蔵施設に燃料が移送されることがあります。これになれば、港湾施設や豊島を前に瀬戸内海に抱いた景観が始まります。近隣自治体の行いに住民が疑念の声を挙

海又查核の今の中間貯蔵施設には、中国電力に発信し、環境保全を求める用の使

岩国市平田 藤川俊雄



焙じ茶は番茶焙じて作られるその焙じ茶に育ち来しわれ・・・上木 祥子

買い替えしLEDのスタンンドは十年持つとう九十めざす・・・稻生美代子

## 中間貯蔵施設と県立大附属高

8月の初めに突如降って湧いたように上関町に持ち上がった原発の中間貯蔵施設建設問題。上関町では、これまで原発建設問題で40数年住民を二分して議論が続けられました。今回は、その核のゴミの保管場所の建設に事実上名乗りをあげたことになります。しかし、その決定がたった2週間のうちに、町長と議員十人だけで行われてしまい、周辺市町にも全く説明がありませんでした。山口県に対し、県民から申し入れが行われましたが、県は、「地元上関町の問題である、中国電力に説明義務がある、エネルギー政策は国の責任で行うものである、



県は今意見を言う立場はない・・・」などと、まるで他人事のようでした。私は9月議会の一般質問で、県の姿勢を質し、知事にもっと積極的な対応を求めました。また、県立大学（山口市）の附属高校を県の東端の周防大島につくることが、突然発表されました。県立高校は過疎化や定員割れなどで再編が進められています。周防大島はその典型なのに、どうして?と疑問に思った県民は多かったと思います。有力な政治家の影響だとつばらの噂ですが、教育を政治で捻じ曲げるなど言語道断です。知事はじめ議員はもっと県民の立場で政治を行わなければなりません。

県議 井原すがこ

東日本大震災が発生、福島第一原発でメルトダウンが起き、信じていた原発に対する安全神話が崩壊、地域住民は放射能から避難するため故郷を離れた。あれから12年、私達は毎食、食卓には見ようとスイッチを入れる。私が覚める電気炊飯器にまいとテレビが点けられた。私が、市議会議員に選ばれてから9年の間に岩国基地に艦載機移駐があり、美和町では岩国市内では森林伐採が行なわれ、メガソーラーによる太陽光発電施設が建設されました。立て続けに、錦町では大規模な風力発電開発計画が持ち上がり、本郷町では産業廃棄物最終処分場建設設計画の申請がされています。

## 草の根議員レポート



2011年3月11日、東日本大震災が発生、福島第一原発でメルトダウンが起き、信じていた原発に対する安全神話が崩壊、地域住民は放射能から避難するため故郷を離れた。あれから12年、私達は毎食、食卓には見ようとスイッチを入れる。私が覚める電気炊飯器にまいとテレビが点けられた。私が、市議会議員に選ばれてから9年の間に岩国基地に艦載機移駐があり、美和町では岩国市内では森林伐採が行なわれ、メガソーラーによる太陽光発電施設が建設されました。立て続けに、錦町では大規模な風力発電開発計画が持ち上がり、本郷町では産業廃棄物最終処分場建設設計画の申請がされています。

市は暮らしていくうえで危険な街になろうとしています。市民の理解も得やすくしては出来ないのです。一部の企業の

## 環境保全に取り組む



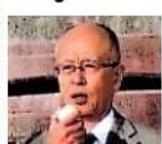
ん。「市民政党 草の根」の所属市議として、県政を正すために、活動している井原すがこ県議を全力で支え取り組んで参ります。

市議 広中英明

さらに本年8月には近隣の上関町に使用済み核燃料の中間貯蔵施設建設計画まで出てまいりました。いつの間にか、岩国市は暮らしが出来るようになり、責任を持つて判断できる知事でなければいけません。

スで満杯、テンパールが落ちないか心配だ。今では原発事故後の節電意識も薄れ、電気漬けの日常を当然の事として生活している。電源の大半は二酸化炭素を発生する石炭、LNGを使う火力発電だ。事故以前、国内には54基の原発があり、日本で使われる電力の約30%を賄つて

## パーカーフェクトな電源はあるのか?



れ、時折、評論家の意見に持論を重ね、「ひと悶着」、今年は猛暑続き、温度を低く設定した工アコンは、朝から全力稼働、冷蔵庫はビールやジュース

化炭素を発生する石炭、LNGを使う火力発電だ。事故以前、国内には54基の原発があり、日本で使われる電力の約30%を賄つて

LNGを使う火力発電だ。事故以前、国内には54基の原発があり、日本で使われる電力の約30%を賄つて

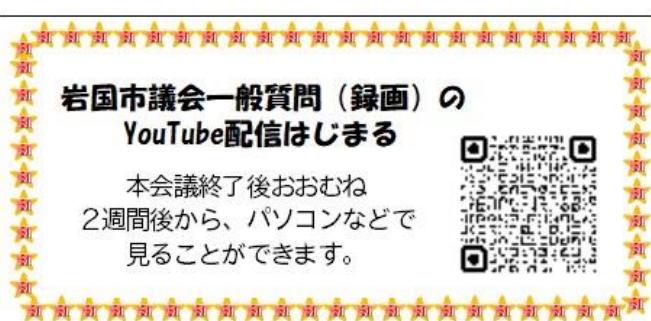
いる。原発も最終処分場が無く、上関町での中間貯蔵施設に周辺市町は戸惑っている。

今、人類にとってパーカーフェクトな電源は無い。近未来に向か、どういった電源構成で生活を維持し経済活動を行っていくべきなのか、地球に住む80億人が知恵を出し、納得し得る答えを見つける時期に来ている。

市議 重岡邦昭

## 岩国市議会一般質問（録画）のYouTube配信はじまる

本会議終了後おおむね2週間後から、パソコンなどで見ることができます。



草の根の運営は、様々  
な知識や経験、能力を持つ  
た方々のご協力により、  
支えられており、その一  
端をご紹介します。

会報は、草の根の活動  
状況をお知らせするため  
に、年2回、約  
2千人の会員のみな  
さまにお届けしてい  
ます。県外約2百人  
の会員には郵送で、市内は、  
百人あまりの各地区のお世話  
人にお願いして手配りしてい  
ただいています。

その会報の編集は、大手企

業OBの男性に長くお任せし  
てきましたが、今回から年代  
の違う女性にお願いすることと  
になりました。当面、これまで  
の形を踏襲しながら、徐々  
に新しい雰囲気も出てくるの  
ではと楽しみにしています。

事務所には、原則  
2人が、日替わりで  
詰め、電話や来所者  
の応対など日常の事  
務処理をしていただいていま  
す。お茶やお菓子なども用意さ  
れていて、どなたでも遠慮なくお立ち寄り下さ  
い。